

令和7年度

本町小学校

5年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

食べる事とは？～食について考えよう～

ねらい：

- ・「お米の学校」において、種もみの選別から土づくり、田植え、生長管理を行い、秋には収穫するという一連の活動を通して、食や農業へ関心を持ち、理解を深める。
- ・西東京市内でとれる野菜のことを知り、食品ロスを減らす取組や地産地消に関心をもつ。その上で地球の環境問題について主体的に考えようとする態度を育てる。

【4月22日】

第1回

新潟から農家の白井さんに来ていただきました。



初回ということで、塩水を使って種もみの中から、元気に育つものを選別する作業をしました。お米にも命があるということが実感できました。

【5月27日】

「第2回」

育てた苗をバケツの田んぼに植える活動を行いました。



畑の土に肥料を混ぜて、素手で丁寧に混ぜ合わせ、バケツの中に稲を植えるための土作りをしました。苗がまっすぐに立つように指を使って植えました。

【11月25日】

「第5回」

春から育ててきた稲を刈り、脱穀と精米を行いました。



100年以上前に作られた。「足踏み脱穀機」や「とうみ」などを使って、手作業で脱穀・精米を行いました。現在の精米機も使い、昔と今の作業の違いについても学んでいました。

【12月9日】

「第6回」

脱穀のときに残ったわらを使って、わら細工を行いました。

缶の周りをわらで飾るだけでなく、竹を固定するためにもわらを使うことに驚いていました。色合いだけでなくバランスも考えながら自分だけの門松を作りました。



まとめ

自分たちで土づくりからお米を育てる事で生産者の苦勞を体験し、その後の総合の学習で「食品ロスを減らすために自分たちでできること」が話し合いのテーマに挙がるなど、子供たちの食への意識に変容が見られました。